



平成30年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年12月12日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク
コード番号 7614

上場取引所 東
URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一 TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 平成29年12月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第3四半期の連結業績（平成29年2月1日～平成29年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第3四半期	22,839	△1.9	962	△17.1	1,290	△7.9	782	△4.9
29年1月期第3四半期	23,284	△16.6	1,161	△12.8	1,400	△0.8	823	6.5

(注) 包括利益 30年1月期第3四半期 814百万円 (△3.9%) 29年1月期第3四半期 848百万円 (6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第3四半期	114.82	-
29年1月期第3四半期	120.77	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年1月期第3四半期	15,477	11,960	77.3	1,754.79
29年1月期	15,171	11,309	74.5	1,659.26

(参考) 自己資本 30年1月期第3四半期 11,960百万円 29年1月期 11,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	-	0.00	-	24.00	24.00
30年1月期	-	0.00	-	-	-
30年1月期(予想)	-	-	-	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年1月期の連結業績予想（平成29年2月1日～平成30年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,950	△2.2	1,580	△1.7	1,980	3.3	1,200	3.6	176.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年1月期3Q	7,335,634株	29年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	30年1月期3Q	519,453株	29年1月期	519,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年1月期3Q	6,816,181株	29年1月期3Q	6,816,181株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益、雇用環境の改善等、緩やかな回復基調が続いているものの、米国新政権の施策動向や各国の政治情勢の変動、アジア諸国の経済動向等、景気・経済の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、消費増税延期により下振れ要因はなくなる中、お客様の節約・低価格志向は依然として根強く、食の安心・安全に対する社会的関心の高まりの他、資材価格や人件費の高止まり、人口構造の変化による採用難の状況が続いております。

このような中で当社グループは、売上高増大のための販売促進活動に全社一丸となって取り組むと共に、お客様満足度の向上や安心・安全な商品を提供できる体制強化、品質管理の徹底などの諸施策の実施に努めてまいりました。小売部門においては、イベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を継続実施した他、生産性向上のために作業工程の見直し、適正な人員配置のためのシフトコントロールを強化しました。また既存店の改装や不採算店の閉鎖、新規ディベロッパーとの取組による新店開発や、新業態での新規出店等、各種施策を推進してまいりました。外食事業にあつてはステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

加工事業においては平成28年3月1日付にてグループ内企業再編を実施しており、前第3四半期連結累計期間は㈱デリフレッシュフーズが連結子会社として1ヶ月間の業績が反映されております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高228億39百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は9億62百万円（同17.1%減）、経常利益は12億90百万円（同7.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億82百万円（同4.9%減）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間の開店は7店、閉店は2店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は156店になりました。内訳は食肉小売店130店（前期末比5店増）、惣菜小売店26店（同増減なし）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、その結果、売上高は169億61百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は8億30百万円（同17.3%減）となりました。

「外食業」

当第3四半期連結累計期間の開店はなく、閉店は3店であり、その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は53店になりました。売上高につきまして、閉店があつたものの㈱オーエムツーダイニングは既存店売上が堅調に推移し、㈱焼肉の牛太は昨年開店した店舗が牽引したこと等により59億56百万円（前年同期比0.3%増）となりました。営業利益につきましては、原価率の影響等から3億59百万円（同6.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、固定負債は長期借入金の返済により減少しました。

流動資産	96億99百万円（前期末比+0.2%）
固定資産	57億77百万円（同+5.2%）
総資産	154億77百万円（同+2.0%）
流動負債	29億96百万円（同△3.2%）
固定負債	5億19百万円（同△32.2%）
純資産	119億60百万円（同+5.8%）
負債・純資産合計	154億77百万円（同+2.0%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年1月期の通期業績予想につきましては、平成29年3月13日に公表いたしました通りであり、連結売上高309億50百万円、連結営業利益15億80百万円、連結経常利益19億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益12億円を予定しております。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,191,991	7,310,561
受取手形及び売掛金	264,799	235,644
テナント未収入金	1,438,810	1,366,430
商品及び製品	383,746	353,055
原材料及び貯蔵品	35,657	35,896
繰延税金資産	68,930	98,203
未収入金	194,789	205,335
その他	100,946	96,724
貸倒引当金	△2,629	△2,006
流動資産合計	9,677,041	9,699,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,271,482	3,308,066
減価償却累計額	△1,819,086	△1,885,064
建物及び構築物(純額)	1,452,395	1,423,001
機械装置及び運搬具	408,782	445,443
減価償却累計額	△253,087	△270,186
機械装置及び運搬具(純額)	155,695	175,257
土地	531,968	531,968
その他	1,701,468	1,897,436
減価償却累計額	△1,224,222	△1,349,364
その他(純額)	477,245	548,072
減損損失累計額	△445,166	△553,973
有形固定資産合計	2,172,138	2,124,325
無形固定資産		
投資その他の資産	108,282	108,990
投資有価証券	1,700,273	1,999,616
長期貸付金	7,079	3,029
退職給付に係る資産	315,989	312,326
繰延税金資産	48,803	74,535
敷金及び保証金	1,073,483	1,104,408
投資不動産	55,466	55,466
減価償却累計額	△35,730	△42,292
投資不動産(純額)	19,736	13,173
その他	70,635	59,004
貸倒引当金	△21,988	△21,988
投資その他の資産合計	3,214,012	3,544,106
固定資産合計	5,494,433	5,777,422
資産合計	15,171,475	15,477,268

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,716,726	1,785,110
1年内返済予定の長期借入金	101,735	—
未払金	373,319	335,484
未払法人税等	226,023	117,824
賞与引当金	66,824	194,123
その他	610,729	564,164
流動負債合計	3,095,359	2,996,707
固定負債		
長期借入金	269,320	—
退職給付に係る負債	207,438	215,491
役員退職慰労引当金	69,184	70,013
資産除去債務	176,516	177,452
その他	43,871	56,615
固定負債合計	766,329	519,573
負債合計	3,861,689	3,516,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	9,837,459	10,456,498
自己株式	△476,078	△476,078
株主資本合計	11,220,079	11,839,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	89,447	117,708
退職給付に係る調整累計額	258	4,160
その他の包括利益累計額合計	89,706	121,869
純資産合計	11,309,786	11,960,987
負債純資産合計	15,171,475	15,477,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
売上高	23,284,995	22,839,367
売上原価	13,902,878	13,659,971
売上総利益	9,382,116	9,179,396
販売費及び一般管理費	8,220,633	8,216,879
営業利益	1,161,482	962,517
営業外収益		
受取利息	1,929	672
受取配当金	1,400	1,400
持分法による投資利益	173,172	269,223
家賃収入	22,420	20,282
協賛金収入	27,597	25,133
受取手数料	16,352	8,034
その他	8,869	12,906
営業外収益合計	251,742	337,653
営業外費用		
支払利息	3,557	1,310
不動産賃貸原価	7,510	6,959
その他	1,252	976
営業外費用合計	12,321	9,246
経常利益	1,400,904	1,290,924
特別利益		
有形固定資産売却益	12	1,274
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	25,882	—
特別利益合計	25,894	1,274
特別損失		
有形固定資産除却損	6,044	2,567
減損損失	109,760	157,370
店舗閉鎖損失	4,254	472
支払補償金	—	8,295
持分変動損失	51,286	—
その他	630	—
特別損失合計	171,976	168,704
税金等調整前四半期純利益	1,254,821	1,123,493
法人税、住民税及び事業税	453,068	405,213
法人税等調整額	△21,447	△64,346
法人税等合計	431,621	340,866
四半期純利益	823,199	782,627
親会社株主に帰属する四半期純利益	823,199	782,627

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)
四半期純利益	823,199	782,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,048	11,901
退職給付に係る調整額	7,147	7,346
持分法適用会社に対する持分相当額	2,869	12,913
その他の包括利益合計	25,064	32,162
四半期包括利益	848,263	814,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	848,263	814,789

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年2月1日 至平成28年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,900,295	485,081	5,899,618	23,284,995	—	23,284,995
セグメント間の内部売上高又は振替高	39,378	29,531	40,828	109,738	△109,738	—
計	16,939,673	514,613	5,940,447	23,394,733	△109,738	23,284,995
セグメント利益	1,004,425	10,290	384,396	1,399,112	△237,629	1,161,482

(注) 1. セグメント利益の調整額△237,629千円は、セグメント間取引消去△35,054千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△202,575千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。「食肉等の製造・加工業」については、閉鎖を決定した営業所の設備等の一部資産について減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」33,946千円、「食肉等の製造・加工業」5,500千円、「外食業」70,314千円です。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、当社の子会社である株式会社デリフレッシュフーズは株式会社フードリエとの間で株式交換を実施したことにより、株式会社デリフレッシュフーズを連結の範囲から除外しております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「食肉等の製造・加工業」において2,747,046千円減少しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年2月1日 至平成29年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,923,404	5,915,963	22,839,367	—	22,839,367
セグメント間の内部売上高又は 振替高	38,274	40,446	78,720	△78,720	—
計	16,961,678	5,956,409	22,918,088	△78,720	22,839,367
セグメント利益	830,977	359,784	1,190,762	△228,245	962,517

(注) 1. セグメント利益の調整額△228,245千円は、セグメント間取引消去△34,224千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△194,021千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」79,338千円、「外食業」78,031千円です。

3. 報告セグメントごとの変更等に関する情報

当社グループは、前連結会計年度において連結子会社でありました株式会社デリフレッシュフーズがグループ内企業再編により連結の範囲から除外となったことに伴い、第1四半期連結会計期間より、「食肉等の製造・加工業」を報告セグメントから除外いたしました。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。